

# か 一 海 い

健康と生きがい。  
シニアライフを考える

団人  
社法  
人社  
法福  
療会  
医社

松涛会広報誌

No.44 新年号  
平成28年



医療・介護・福祉の連携により地域社会に貢献いたします。  
～あなたの遊びが、私の生きがいです～



安岡病院とはまゆう苑間の渡り廊下屋上より撮影

## 目次

### 海風巻頭言

### 二〇一六年の年頭に寄せて

#### 松涛会トピックス

「日本医療機能評価機構」の受審に向けて

老健局長 三浦様 来館

初任者研修を受けて

斎藤内科（現彦島内科）創立五十五周年

セントラルキッチン十周年を迎えて

特別養護老人ホームはまゆう苑三十年を迎えて

プロイデ彦島創立十周年にあたり

医療法人ニユース

第2回院内感染対策委員会主催研修会を終えて

再就職支援セミナーを開催して

安岡小学校ふれあい教室

彦島連携支援

部署からの二言

社会福祉法人ニユース

高齢者の消費者被害について

優良運転者として表彰受賞

QCサークル山口地区ブロック大会に参加して

部署からの二言

トピックス&ニユース

緩和ケア週間 講演会

思い出を語る会

緩和ケア病棟利用状況

緩和ケア クリスマス会

ねんりんピックおいでませ！山口2015が開催されました！

下関海響マラソン2015が開催されました

平成27年度松涛会感謝祭

文化祭からはじまる地域の輪

アサギマダラ蝶飛来

QCキックオフ大会

第三回安岡沖風力発電建設反対デモ行進について

基本方針 患者の権利と責務

オフタイムの1コマ～職員旅行記～

新人職員紹介

新入職員研修 講義内容

医療法人 新入職員のひとこと

社会福祉法人 新入職員のひとこと

施設のご案内



# 謹賀新年 二〇一六年の年頭に寄せて



松涛会 理事長  
斎藤 正樹



安岡病院 院長  
戸田 健一

## 賀正 病院から地域包括ケアへ

二〇一五年（平成37年）、高齢者比率が30%を超えます。

高齢時代となり、地域包括ケアの構築が呼びかけられ、住民が住み慣れた地域で、暮らせるために、病院の中から外まで見通した包括ケアが必要であろう。

地域で果すべき病院の役割は大きく変わりつつあります。

安岡病院は地域の拠点となり、医療と介護・福祉等を含む生活支援が一体となって地域住民に提供出来る体制を作る必要があります。

病院完結型から、地域包括ケアシステムへ転換することが望れます。

こうした中、退院の支援と調整、そして療養移行支援があらためて、その重要性を帶びてきたと思います。

患者様、御家族にとって、より良い生活を選び得るように、生活支援を調整する。

そして、在宅療養が再開できるように導く。

病院内から外に視野を持つようになります。

入院前から、退院後の生活まで、生活者の状態をよく把握しているケアマネジャーや訪問看護師等の力を活用することが最も重要です。

年頭にあたり、松涛会の発展と、千人余りの職員・御家族の御健勝と御多幸を祈念致します。

尚今年は松涛会が発足して五十六年目になります。職員一同の努力に深く敬意を表します。

平成二十八年 元旦

## 皆様、新年明けましておめでとうございます。

毎年暮れに「流行語大賞」・「今年の漢字」が発表され、なんとなくその年が総括されて新年を迎えます。

今年の安岡病院のテーマを漢字二字で表すと何になるでしょうか。

医療介護の領域では、地域包括ケアシステムの推進に向けた「地域医療構想策定会議（病床機能の再編・強化と病床数の適正化＝削減）」「治す医療」から「治し、支える医療」への転換の議論が急ピッチで進んでいます。

安岡病院も、環境の変化に遅れることなく、10月に「年前倒しで「日本医療機能評価機構」の4回目の受審をし、その後、本館棟の建て替え・病床機能の再編を行っていきます。病院は本来の機能である治療を行い、その後は、在宅（居宅）で生活を支えるサービスの提供が必要となります。病院チームは、診断・治療・リハビリ機能のレベルを上げ、居宅チームはより医療依存度の高いケアの提供が望されます。

医療・介護報酬の削減、慢性的な人不足の中ですが、みんなで知恵を出し合い、スクラムを組んで、より良いケアを患者様ご家族に提供できる体制作りに努めていきましょう。

今年のテーマは、なんでしょうか。念頭にあたり、皆様それぞれの公私の目標となる漢字一字を考えてみてはどうでしょうか。

この一年が皆様にとって、穏のある一年となることをお祈りいたします。

平成二十八年 元旦



## 病院機能



現3回目更新時の認定証



機能評価プロジェクト会議の様子

平成28年10月に、日本医療機能評価機構の第3世代・Ver.1.1を受審します。当院は、これで4回目の受審となります。今回は、主機能を慢性期病院で、副機能を緩和ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟で受審し、さらなる病院機能の向上をめざします。昨年より、機能評価プロジェクトを立ち上げ、各部署・委員会・病棟で準備を開始しています。

病院の機能とは、図で示す様に、持続可能な人的・経済的基盤のもとに、患者様とご家族に、癒し(ホスピタリティ)と質の担保された(根拠に基づいた)医療・看護・介護を安全に提供することです。機能評価機構の審査項目はこれらすべての病院機能を網羅しており、第三者機関のチェックを定期的に受けすることは、当院の機能の維持・向上をはかる良い機会となります。

第3世代のテーマは「患者の視点に立った、良質な医療の実践」となっています。患者様とご家族の意向を十分聞き、専門職として多職種でその時々の局面にあつたサービスの提供とその過程の記録が求められています。

卷頭でも述べましたように、本館棟の建て替えと病床機能再編に向け、前回受審から4年目(本来は5年に1回の更新)の更新となっています。準備は大変ですが、今回の受審を契機として、10年後の医療環境にも対応可能な病院機能の構築に向け、全職員で取り組んでいきたいと考えています。

安岡病院 院長 戸田 健一

平成27年11月15日(日)「地域包括ケアシンポジウムが海峡メッセ下関にて開催されました。

厚生労働省 老健局長 三浦 公嗣様、山口県健康福祉部医療政策課長 國光文乃様、下関市保健部長 長谷川 学様がフロイデ彦島に8年ぶりに再来所されました。



## 「日本医療機能評価機構」の受審に向けて

老健局長 三浦様 来館

初任者研修を受けて

グループホーム フロイデ彦島  
介護士 八道 真由美



授業の中で、「介護士とは何ですか?」という質問がありました。私は、「利用者様だけでなく、家族の方も含めて支援すること」と答えました。色々な施設の形態や、利用される背景を知り、この考えになりました。この時が、介護についての考えが変わった時だったと思います。

## 斎藤内科(現彦島内科)創立五十五周年～開業当時の思い出～

松濤会 理事長 斎藤 正樹

昭和三十五年、彦島江の浦町で開業。

当時、道路は未舗装で、降雨時は泥濘と化し、車のしぶきが屢々歩行者を悩ませた。山口に出かける際には、国道二号線は厚狭経由で、歯ブラシのように凹凸が著明で、車は大きくバウンドしていた。

開業地付近は田圃に蛙が鳴き、ザリガニが見られ、数件の家が散在していた。

往診は今では考えられない夜間に「一、二回のこと」とも屢々で、ピーポーがなかつた時代であった。

注射器の消毒は、蒸気消毒器で行われ、予防接種は、一本の注射針で数名に使用していた。  
(B、C型肝炎の原因の一つになつたが、幸いにも、私の地区から流行はなかつた。)

スタッフ数名で始めた医院は、五十年後の現在は、福祉施設も含めて七拠点、五十九事業所、千人を超す松濤会に成長したのも、スタッフ一同の努力の賜物で深謝します。



開業当時の舗装されていない道路  
(車は1957年式コロナ)



開業は斎藤医院で、平成17年に彦島内科へ改称



準パーカエクト達成は、理事長が医師会ボーリング大会にて



昭和45年から始めた松濤会ボーリング大会に中山律子氏が参加！

## セントラルキッチン十周年を迎えて

栄養統括課長 黄丹 恵美子

平成15年、「真空低温調理って何?」という認知度の低かつた調理システムの導入プロジェクトは全ての「?」から一つずつ積み木を積み上げるように始まりました。突き動かしたのは経営者・栄養科員の「利用者本位のより安全、高品質の食事サービスの提供」への想い。その20か月後の平成17年5月にセントラルキッチン(羽)は、その名の通り総事業費三億六千万円をかけて、この安岡の地に羽を広げました。当時を知る職員は「頭を切替えるのは大変だったけど徹底した研修や繰返す試作が自信になった」と…。

この十年間、試行錯誤の連続でしたが、食数は千八百から一千四百食に増え、専門家からも「ここまで成功した例は日本中でも少ないですよ」と評価いただけるようになりました。

今、給食委託や弁当といった施設が多くなる中、小規模な介護サービス事業所にも大規模施設と同じようにクオリティの高い食事が提供できるのは、中心にセントラルキッチンがあるからだと思います。

これからも、より高みを目指して進化していく為にセントラルキッチンは、今第二章に入ります。



平成16年 試作風景



平成16年 試食風景



※「真空低温調理」とは  
専用の二層式ヘルム(あるいは真空容器)を使い、鮮度管理された食材を生のまま、あるいは、予め熟処理した後、調味料・調味液を加え、真空包装し、温度と時間管理が正確に行える加熱機器を用いて袋ごと加熱する調理法。

## 特別養護老人ホームはまゆう苑三十年を迎えて

はまゆう苑 課長

松谷 法史



昭和61年  
当時23歳

月1日、茶色  
の三角帽子を  
被つてオープ  
ンした特養はま

ゆう苑は、まるでテーマパークの建物のようでした。竣工式は多くの来賓を、土砂降りの雨の中でお迎えしたことを思い出します。

とにかくみんなに笑顔になつてもらおうと、「一生懸命になつていきました。毎月の誕生会は職員の演芸披露でした。「どじょう掬い」「カンカン踊り」など、季節の行事も大がかりに行われ、サンデンバスでの遠足、苑庭でのそうめん流し、開苑記念日は、入所者様と職員が一緒に劇や歌などの演芸を家族の前で披露するなど、現在の重度化した入所者状況では考えられないことでした。無我夢中で働いて、ふと気づくと十周年、当時のタイムカプセルは、まだ埋まつたままでです。

そして「三十年目を迎える今年、たくさんの方々の出逢いと別れがありました。振り返れば、結局は周囲に支えられてきた自分に気づき感謝するしかありません。はまゆう苑から始まった社会福祉法人は、今多くの方々に支えられています。「自分が利用したい」サービスを目指し、「ここに来てよかつた」と言つてもらえるように、職員一同、これからも謙虚に、明るく頑張っていきたいと思っています。



開設当時の頃のお花見の様子



当時はデイサービスセンター（右側）を併設していました。（撮影位置は現在の地域交流ホーム）

はまゆう苑 介護士

宮原 律子



昭和61年  
当時44歳

のはまゆう苑開設からまもなく三十年を迎えます。当時、安岡病院入院中の義母の看病に通つたことが縁で、技術も資格もない四十年代半ばの私を寮母として受け入れていただき、理事長・苑長の懐の深さはもちろんですが、介護を取り巻く世の中の状況もいい意味で大らかな時代であつたと思われます。当初32名のスタッフでスタートしたはまゆう苑ですが、昭和から平成へと年号が変わり、平成12年の介護保険制度の開始、その後の度重なる改正、新たな介護サービス事業所の開設等、苑を取り巻く世の中の状況はこの三十年の間に大きく変化しました。私自身、この年月を振り返ると、こうした変化の風をスタッフの一人としてリアルタイムに感じると共に、その日々の一々に応えるべく、さまざまな取組みにチャレンジしてきたことが、まるで昨日のことのようになります。

団塊の世代すべてが後期高齢者に達する「二〇二五年」、かつて経験したことのない超高齢化社会の到来はすぐそこまで迫つてきています。

今回三十周年を迎えるにあたり、団塊の世代である私も、スタッフのひとりとして、現状に立ち止まることなく、未来を見据え走り続ける覚悟を新たにしていく次第です。

施設長

斎藤 英樹



平成23年2月 櫻井よしこ様来所

フロイデ彦島が十周年を迎えることができたのは、入居者様や利用者様、ご家族、地域の皆様、そしてスタッフひとり一人のお陰です。心を込め感謝致します。フロイデ彦島が十周年を迎えることができたのは、入居者様や利用者様、ご家族、地域の皆様、そしてスタッフひとり一人のお陰です。心を込め感謝致します。ありがとうございます。ありがとうございました。今後とも総合福祉施設として地域に密着した取り組みをスタッフ一同心掛けていく所存です。ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。



平成17年11月 盲導犬シルク来所



平成18年11月 コンサート



平成21年12月 聖路加国際病院 理事長  
日野原 重明 先生来所

## フロイデ彦島創立十周年にあたり

施設長

斎藤 英樹

フロイデ彦島は松涛会グループのブランドイメージとも言えるアットホームで癒しと安らぎのある空間を余すことなく取り入れた結果、建築業協会賞、日本医療福祉建築賞、下関市景観賞特別賞を受賞した。

フロイデ彦島が十周年を迎えることができたのは、入居者様や利用者様、ご家族、地域の皆様、そしてスタッフひとり一人のお陰です。心を込め感謝致します。ありがとうございます。ありがとうございました。今後とも総合福祉施設として地域に密着した取り組みをスタッフ一同心掛けていく所存です。ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしく

## 第2回院内感染対策委員会主催研修会を終えて

感染対策委員会 花谷 美緒子

今回は、「ノロウイルス発生時にどう動く!」と題して、寸劇形式の研修を行いました。実際の行動をシミュレーションすることでより深く理解してもらおうとの目的から実施しました。実際の現場に直面した時の二連の流れを、リアルに表現することで、それぞれの立場での対応を強く印象付けることに努めました。

嘔吐直後の吐物の処理、下痢便の採取、主治医及び感染管理者への報告、検査依頼と初動の重大性を訴え、また感染確定後の対策や患者家族様への対応なども表現しました。蛍光塗料を使用しての吐物処理の実技も行いました。

参加者からは、「寸劇方式でとてもよく理解出来た。」の声がありました。この研修を活かして今年も「ノロウイルス」に打ち勝とう!



### 再就職支援セミナーを開催して

看護部 副看護部長 刀禰 美津子

11月16日から11月20日の5日間、再就職支援セミナーを実施

しました。様々な理由から離職された潜在看護師が現場に復帰することを目的に年2回開催しています。1日目は、看護技術（経管栄養法・注射法・採血・吸引法・ボディメカニクス）、4日間は病棟実習を行い、現場で看護業務体験をして頂きました。参加者はからは、「システムや医療体制が以前と違った。変わっていることが理解できました。看護職と介護職のチームワークが取れていた。」と言わされました。今後一人でも多くの潜在看護師がセミナーに参加され、現場に復帰したいと思って頂けるように取り組んでいきたいと思います。

\* 安岡小学校の児童の方は病棟などにも来られました。  
環境として、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。



### 彦島連携支援

彦島訪問看護ステーション 田村 早苗



近年、癌末期の状態で自宅療養されている独居の方が住宅型有料老人ホームに退院後入居されるようになりました。ケ

アタウン江の浦では診療所、訪問看護、訪問介護、小規模多機能と終末期を支えるサービスが充実しています。終末期のケアは病状変化や疼痛に伴い細かいアセスメントや迅速な対応、他職種との連携が必要です。またケアの変更や緩和ケア病棟への入院のタイミングとそれぞれ最善のタイミングがあります。7月に関わった大腸癌末期の方は総合病院退院後住宅型有料

に入居し当拠点サービス利用をされ安岡病院の緩和ケア病棟に入院となりました。介護から医療への流れが良く自分の状況にあった場所で療養が出来たと喜ばれました。最善のタイミングで包括的に支援ができる施設に成長したと感じております。

### 安岡小学校ふれあい教室

グループホームわたぼうし 宮原 悅子

10月2日、安岡小学校の児童の方7名がふれあい学習にて来所されました。

生徒さんの自己紹介から始まり、タイムスからスタート。入居者の方も少し戸惑つておられましたが、ピントを出してくれるなど工夫して下さり、次々に答えると緊張感も一変、ホールは笑顔と拍手であふれています。その後音楽に合わせて児童の方がダンスを披露。ホール全体がコンサート

会場のように手拍子は弾み、最後は全員で「ふるさと」他一曲を大合唱しました。児童の方の手作りのカードも頂き、お孫さん、ひ孫さん世代との心温まるひとときでした。地域の交流の一環として、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。



### 部署からの一言

緩和ケア病棟 医師 竹内 亮  
戻ってきました

6年ぶりの海は、背伸びした松にちよつと遮られていたが、水平線に沈む夕日も蓋井島の影も来留見瀬灯標も依然とそこにいました。

ここではゆっくり時間が流れています。その流れに身を任せながら、しっかりと聴き、考え、生と死を見つめていきたいと思います。

また、よろしくお願い致します。

### ソフト食の改良を目指して

栄養科 永久 美菜子

「形があるものが食べた」という声にお応えして、現在のソフト食の改良を目指しています。凍結含浸法という食材そのままなのにプリンの様にやわらかくなる新たな手法を取り入れ、試行錯誤しながら松寿会ならではのソフト食開発を行っています。10月の敬老の日にお出した加茂弁当は、「形がないから食べる気がしない」とほとんど手を付けられていない患者様が「美味しい」と全てお召し上がりになりました。これからもより良いお食事の提供が出来るよう研究していきたいと思います。





# 社会福祉法人ニュース

## 高齢者の消費者被害について

ケアハウスオリーブ

事務長 山本 広幸

10月30日に、下関市安岡・吉見地域包括支援センターの職員による、消費者被害の講座を開講しました。

高齢者の消費者被害も多く発生しており、「うそ電話詐欺」も相変わらず増加しております。今講座は、一時間の予定で担当地域の包括支援センターに依頼し、近隣の施設の方も参加され、楽しくかつ分かりやすいように、ロールプレイも交えて、被害に合わないために気を付けるところ、電話がかかってきてきたらどのように対応すればよいかの話をしてもらいました。「マイナンバー制度」に係る詐欺被害も出てきています。貴重な財産を失つてしまわないように、再度、不審な電話がかかるとき、すぐに職員に相談をするようにお願いしました。

## 優良運転者として表彰受賞

フロイデ金比羅

営繕兼運転手 濱本 幹夫



## QCサークル山口地区ブロック大会に参加して

ケアハウスフロイデ彦島

介護士 野見山 貴子

11月13日、QCサークル山口地区西部ブロック大会に参加させて頂きました。マツダ、ブリヂストンなど工場関係の発表が続中、唯一、福祉関係からの出場となりました。テーマは「火災に対する職員の防災意識を高める」です。ケアハウスフロイデ彦島の施設説明や、職員だけでなく入居者様と一緒に火災に対する防災意識を高めるという取り組みなどを傍聴している皆様に分かりやすく伝える事が出来たと思います。

QC活動では煙の怖さ、火事にさせないこと等、改めて学ぶことが出来て良かったと思います。また、ケアハウス職員、夜警、他部署との連携を深める事が出来たこと、たくさんの職員の方々に協力して頂いたことを本当に感謝します。これらも、入居者様に安心、安全な生活を送って頂けるよう、QC活動での経験を生かしていくべきだと思います。



部署からの一言  
今も変わらない大切なこと

はまゆう苑

介護係長 手代木 千里



今も昔も変わらない大切なこと、それは、「利用者様中心の介護」です。時代の移り変わりとともに介護施設に求められるものも変わりました。はまゆう苑も定員が増え、ユニットケアが導入され、またサテライトができるなど、大きく変化してきました。「利用者様中心」はもちろん、介護する職員が一緒に楽しむことも必要です。

利用者様の重度化の中で、安全で暮らしやすい生活の場を提供できるよう、日々を大切に頑張っていきます。

## 一周年を迎えて

フロイデ金比羅

副施設長 小原 良江



フロイデ金比羅が開設して12月で1

周年を迎えました。新しい建物、初めてお会いする入居者様にご家族、一緒に働く職員、初めて取り組むユニットケア等すべてが新しい」とばかりでした。

今まで新しい病棟の立ち上げには携わってきましたが施設全体が新規なのは初めてでしたので不安と期待で一杯でした。

特に印象的だったのが、開設日各事業所に沢山の入居者様が同時に入られ、とても大変だった事、事故もなく無事に一日が終了し安堵したのを今でも覚えています。

これから1年、ショートステイもすべて開設され、フロイデ金比羅は、「川上から川下までの多機能複合施設」として、多様な介護サービスを必要とする方々にフロイデ(歓喜)」の名稱通り、歓びの住まいとなるよう、安心して住み続けられるようタフで元気、陽気な皆と一緒に初心を忘れず頑張りたいと思います。

## 緩和ケア週間 講演会

緩和ケア病棟 看護副主任 折居 由希



平成27年10月3日にホスピス緩和ケア週間にちなんで講演会を開催しました。ホスピス緩和ケア週間というのは、世界ホスピス緩和ケアデーを最終日とした1週間を緩和ケア週間としたものです。緩和ケアについて一般の方に少しでも知つて頂くことを目的としています。当日は120名近くの方の参加を頂きました。

緩和ケア病棟医師が「緩和ケアと緩和ケア病棟」についてわかれやすくグラフや写真を交えて話しました。

緩和ケア病棟看護師が「むくみの緩和ケア」を、動画を交えて説明しました。また、ご家族より貴重なお話を頂きました。

その他、緩和ケア病棟見学会やホスピスコンサート・ティータイムにも多数の方の参加がありました。

緩和ケア病棟では、患者様が自分らしく生き抜いて頂けるようサポートいたします。今回のイベントを機会に緩和ケアというものが少しでも理解して頂けるように努力していくたいと思います。



## 思い出を語る会

緩和ケア病棟 看護師長 山本 妙子



11月7日に緩和ケア病棟の第16回目の遺族会「思い出を語る会」を開催し、15家族 19名の参加を得ました。当日はお茶やコーヒー、デザートを準備し、入院中の患者様の写真をスライドで流し、思い出を語り合いました。当方へ来て下さったことだけで感謝の気持ちでいっぱいです。

「ここに入院して良かったです」という言葉を頂き、職員も癒やされた時間でした。少しでも心の内を吐き出して明日への活力になれたらと願って、会を続けていきたいと思います。

## 緩和ケア病棟利用状況

### 緩和ケア病棟 クリスマス会

緩和ケア病棟 看護師 福原 昭子

12月18日に緩和ケア病棟にて、クリスマス会を開催しました。ご家族も参加され、クリスマスデコレーションを施したデイルームにてクリスマスディナーを堪能していただきました。

ボランティアの皆さんのが手品等の余興で参加していただき、ディレームは驚きや笑いに包まれ、楽しい時間を共有しました。

最後に担当医師がサンタやトナカイに扮装し、患者さん一人ひとりにプレゼントを配りました。



栄養科 手作りのバイキング料理



担当医 両ドクター

今後も患者さんやご家族に、楽しい思い出づくりが出来る様に努力していきたいと思います。



**ねんりんピックおいでませ!山口2015が開催されました!**

平成27年10月17日(土)から20日(火)まで「ねんりんピック」の愛称で「全国健康福祉祭」が開催されました。60歳以上の選手を中心としたスポーツと文化の祭典です。毎年開催されていて、今年は山口県では初めて開催され、正式には「第28回全国健康福祉祭やまぐち大会」になります。また、延べ54万人参加されました。

## 救護員として参加

1病棟 小林 貴美代



あらゆる年代の人達がスポーツを通じて交流を深める目的で、開催されたねんりんピックにおいて、下関武道館で行われた弓道大会へ、安岡病院より看護師2名が救護員として参加しました。最高齢選手92歳!!人生の大先輩である皆さん方の袴姿ではつらつと弓を射る姿に、私達の第一声は、「素晴らしい。」の一言でした。幸い救護として活躍する事なく無事に1日を終える事ができました。全国から参加された方々の、諂ひ高き日本人の生き方を学んだ一日でした。

マージャン4位入賞

ねぎぼうず宿直 岡田 博



5月に「健康マージャン」山口県代表選手予選会に参加、300名近い中からベスト8で予選突破しました。

全国から勢揃い、4人1チームで4人の総合得点で順位が決まります。団体戦で全国4位に入賞、メダルや数多くのお土産を頂きました。

70才の節目に全国大会に出たいという夢が叶いました。温かいご支援有難うございました。



当日下関市商工会議所青年部として参加  
(中央: 竹藤常務)

## ねんりんピック新聞

2015  
IN 山口

2015年10月17日(土)発行

地域包括ケアの先駆者が志す  
心豊か、穏やかに暮らす理想の住まい

松濤会グループ(下関市)

驅者が志す  
す理想の住まい



④地域交流拠点「ベートーベンホール」

「ねんりんピック新聞2015」が発行され、理事長の記  
シルバー商業新聞社にご協力いただき、掲載しました。

## 11月1日(日)に下関海響マラソン2015が開催されました。



フロイデ金比羅の前を通りますので、副理事長をはじめ入居者様も一緒に応援しました！



下関海響マラソンはアッパダウンが激しい部分もありますが、瀬戸内海と日本海を臨みながら走ることができます。今回で8回目となりましたが、1万2000人がエントリーされました。

下関海響マラソンはアッパダウンが激しい部分もありますが、瀬戸内海と日本海を臨みながら走ることができます。今回で8回目となりますが、1万2000人がエントリーされました。

### 皆さん、完走おめでとうございます！

#### 完走者とひとこと

安岡病院事務局 松井 利三  
応援ありがとうございました。来年も走ります！

安岡病院事務局 松井 利三  
応援ありがとうございました。来年も走ります！

老健コスモス通所リハビリ 水野 佳代子

55歳の記念に、海峡マラソン5kmに挑戦しました。青い海に青い空、そして沿道の応援。完走できた喜び、ふるさと下関の素晴らしい人の温かさを感じた1日でした。

はまゆう苑 居宅 若松 栄一郎

景色を眺めるゆとりはありませんが、沿道で応援してくれる皆様の顔ははっきりと見ることができます。おかげで心地よくゴールをくぐる事ができました。わが子と一緒に参加できる日まで走り続けたいと思います。

彦島内科通所リハビリ 神田 正直

右膝と左足首に痛みを感じながらスタートしましたが、副理事長や沿道の皆さんの応援が励みになり、昨年より10分早い4時間26分59秒でゴールしました。

老健コスモス 藤田 健

多くの方の声援に力をもらいました。本当にありがとうございました。記録が悪かったので、来年も挑戦します。

はまゆう苑 高松 美加

沿道の方からたくさん応援を頂き、無事に完走することができました。

安岡病院5病棟 室富 香

海響マラソンの参加は今回で2回目です。きっかけはお洒落なスニーカーが履いてみたいということからでした。海のそばを走れる気持ちのいいコースなのでまた参加したいです。



フロイデ金比羅に応援の横断幕設置！



松涛会創立55周年のお祝いのお言葉

#### 平成27年度 松涛会感謝祭

広報委員会 宮原 美代子

平成27年度松涛会感謝祭を12月22日(火)に海峡メッセ下関にて開催しました。

ご公務お忙しい中、安倍晋三内閣総理大臣令夫人安倍昭恵様をはじめ、日頃からお世話になっている方をお招きし、医療法人、社会福祉法人、総勢707名が参加しました。

安倍晋三内閣総理大臣からの松涛会創立55周年のお祝いのお言葉もビデオでいただきました。永年勤続表彰(25年2名、15年15名)を行い、職員の余興(7チーム)の熱演で、会場は大変盛り上りました。職員の皆さん、今年も1年間お疲れ様でした。

## 文化祭からはじまる地域の輪

文化祭実行委員会 はまゆう苑 介護士

山本 大貴

10月24日(土)文化祭が開催されました。

地域交流ホームでは、患者様や入所者様、利用者様が作成した作品が数多く展示され、一方、会場バザーも大賑わいでした。

演芸では、迫力ある演奏で観客を沸かせた下関市立大学の吹奏楽部を筆頭に、幸寿会と続き、とりは、その場の空気をさらにヒートアップさせる踊りで観客を魅了した下関市立大学の「震」によるよさこいで幕を閉じました。

私は、この演芸会の司会を担当させていただき、今年もステージの上から観客席を見渡すことが出来きました。地域の方もたくさん来られていきました。

この文化祭は、患者様や入所者様、利用者様のためだけでなく、地域との交流の場でもあることを改めて感じました。躍動感のある松涛会をアピールできたでしょうか。「こんな職場で働きたい」「こんな施設にいてよかつた」と思いました。

文化祭という行事を通して人に感動をあたえ、創造力あふれる松涛会はこれからも地域に根ざして進んでいく、「こんな職場で働けてよかつた」と思います。



### 文化祭作品 展示スケジュール

山口銀行 安岡支店

1月下旬予定

下関東郵便局

2月上旬予定

山口銀行 彦島支店

2月中旬予定

事務局 木村 圭吾

今年もアサギマダラ蝶が海を越えて、安岡病院のイングリッシュガーデンに飛来してきました。

副理事長からアサギマダラ蝶が初めて飛来した時の話や、蝶が毒を持っている事を聞きました。「思い出を語る会」を開催していた時に秋の七草の「フジバカマ」を会場の入口に生けていたそうです。その花に蝶が飛んでき、逃げなかつたそうです。それがアサギマダラ蝶でした。それをきっかけにイングリッシュガーデンにフジバカマを植えるようにして、毎年飛来する様になったそうです。

毒を持っているのは敵から身を守るために警戒色で鮮やかな体色をしていると考えられているそうです。人間には害はないとの事で、美しさで目を楽しませてくれるのであります。がたいことだと思いました。患者さんも毎年アサギマダラ蝶が飛来するのを楽しみにしています。



## アサギマダラ蝶飛来

## QC キックオフ大会

QC 委員会 委員長 藤田 健

平成27年度QCサークル キックオフ大会が10月8日(木)地域交流ホームにて、約150人の職員参加のもと開催されました。

今年度は9チームの参加がありました。

キックオフ大会は、QC活動開始時に、各サークルによる自己紹介と取り組む姿勢、熱意を表明する大会です。各チームは工夫を凝らしたパフォーマンスを懸命に演じて、大変盛り上がった大会になりました。

上位3チームは既に発表されていますが、その他のチームも負けず劣らずの評価でした。

院長の熱演で湧く会場!  
QC活動をさらに盛り上げていきましょう。

10月4日(日)、安岡沖洋上風力発電建設に強い危機感を持つ地域の方々、約千人が海峡メッセ前に集結し、幟旗や横断幕、プラカード等、各個人が作成し、海峡メッセ前から港湾道路、国道二号線を行進しました。

前田建設工業株式会社が最初に地域住民説明会を開催したのは、平成25年4月7日。それ以降、我々は高齢者様や患者様を数多く抱えている医療・福祉機関として地域住民の方々と共に反対運動に参加してきました。現在、風力発電建設反対の署名数は八万筆を超えてます。山口県病院協会や山口県保険医協会、下関医師会北浦班等、反対の声明を次々に出しています。

これから10年、20年後も綺麗な夕日の見える「安らが岡」であるようにこれからもされることなく反対運動を行っていきます。ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



来年の発表大会にむけて、QC活動をさらに盛り上げていきましょう。



安心してください! はいてますよ!



すきっしゃ! 彦島!

## 第二回安岡沖風力発電建設反対デモ行進について

松涛会グループ常務理事 斎藤 英樹



## 医療法人社団松濤会の基本方針

医療・看護・介護の質の向上と安心・安全の確保に努めます。

心温まる  
癒しの環境を  
創造致します。

3 資産の有効的・  
効率的な活用により  
健全な運営を行います。

### 患者の権利と責務

松濤会安岡病院は、患者中心の医療を実践するためには、患者の基本的権利と責務を明確にすることが大切であると考え、ここに「患者の権利と責務」を宣言いたします。

- 1 個人の尊厳
- 2 平等で最良の医療を受ける権利
- 3 知る権利、自己決定権
- 4 情報に関する権利
- 5 プライバシーの権利
- 6 医療に協力する責務



## ☆オフタイムの1コマ～職員旅行記～

### 萩旅行



萩への道、萩からの道

グチ発散を期待して参加した人、昼食ステーキを期待して参加した人いろいろでした。全員みやげの買い物を後悔していました。

山の田内科 佐田 英明



### 萩旅行



職員旅行に参加し、仕事を忘れ、1日のんびりと楽しむ事が出来ました。世界遺産や城下町の散策と萩を満喫できとても良い旅行でした。

はまゆう苑

和田 肇



### 太宰府旅行



晴天に恵まれ、紅葉も美しい太宰府天満宮を参拝しました。ビール工場では出来立てのビールを頂き、幸せなひとときを過ごしました。日々の忙しさを忘れ、楽しい一日を過ごすことができました。

小規模多機能介護施設  
伊賀 祥平



### ハウステンボス旅行



天気にも恵まれ、美しい景観の街を散策しました。夜の園内は色とりどりのイルミネーションで、すごく幻想的でした。

オリーブ

吉本恵美子



### 食事会

下関・北九州の灯が一望できる部屋で、フランス料理を堪能し、理事長のマジックを絶出で楽しんだ出会いでした。

安岡病院 小西 孝子



### 食事会

ふくのフルコースは食べきれないほどの品数でした。おいしいお酒も堪能し、他部署の方々と交流ができて、とても良い機会となりました。今回のような企画があればまた、参加したいと思いました。

安岡病院 三宅 淳子



## 新入職員紹介



安岡病院、コスモス(安岡拠点) 職員



ケアタウン山の田 職員



フロイデ彥島 職員



はまゆう苑、オリーブ(安岡拠点) 職員



安岡拠点 職員



フロイデ金比羅 職員



フロイデ金比羅 職員



ケアタウン江の浦 職員



安岡拠点 職員

## 新入職員研修 講義内容

### ・共通事項

オリエンテーション

これから医療・介護の展望

松涛会の沿革

松涛会理念・方針

安岡病院での食事提供と

真空低温調理について

緩和ケア病棟の10年を

振り返ってDVD観賞

### ・医療法人のみ

近年の医療について

松涛会組織概要

リハビリテーションとは

医療保険・介護保険、

施設基準について

防災・避難体制について

医の倫理と医療安全・

感染について

社会保険・厚生年金等、

就業規則・服務規程等

### ・社会福祉法人のみ

松涛会の概要

接遇について

法令順守、プライバシー保護、非常災害時の対応等  
高齢者虐待、認知症、感染症予防、介護保険等



理事長講義



入社式の様子



## 医療法人 新入職員のひとこと

介護職員 秋利 幸恵 初心を大切に	准看護師 岩崎 菜美子 日々感謝の気持ちを大切に	医事課 大方 愛実 成せば成れ	介護職員 大平 小百合 ケアの一歩は笑顔から
介護職員 奥迫 達也 温故知新	看護師 小寄 京子 笑顔を大切にします	看護師 亀永 好子 思いに寄り添う	介護職員 河本 真輝 継続は力なり
介護職員 北崎 廣子 いつも笑顔で接します	看護師 小橋 恵子 耳を傾け、心を込めて	介護職員 堀 典子 日々是好日	介護職員 次藤 拓郎 何事も全力投球!
看護師 白石 和代 因果応報	介護職員 杉原 一哉 誠心誠意	介護職員 高牟禮 伸知 日々少しずつ前進	介護職員 瀧本 彩代子 初心を忘れないようにします
相談員 田中 桂子 Uターン組 故郷に貢献	介護職員 常岡 芽里香 笑顔に勝る化粧なし	看護師 津畑 智子 苦は楽の種	准看護師 豊田 昌義 勇往邁進
薬剤師 中原 文子 努力は全ての扉を開く	准看護師 中三川 立嘉子 初志貫徹	調理員 西岡 孝子 笑顔絶さずはつらつと	相談員 西嶋 真由 共感と傾聴
介護職員 野村 泰治 日進月歩	介護職員 長谷川 洋子 1日1笑!!	營繕 濱 豊明 断捨離で頑張ります	経理 林 貴子 初心を貫く
准看護師 久永 晴美 一期一会を大切に	栄養士 廣瀬 晃宏 初心を忘れず日々精進	調理師 福永 クニ子 一日一日を一生懸命に	准看護師 古田 恭子 初心を忘れずに
介護職員 松本 修一 笑、笑、笑、一笑、元気で	准看護師 三宅 ひとみ 自己のレベルアップ	看護師 宮本 美智江 前を向いて歩こう	介護職員 村野 さとみ 日々精進していきます!
看護師 山田 智子 笑顔・感謝の心を大切に	調理員 山本 聰美 笑顔で元気に前向きに		

## 社会福祉法人 新入職員のひとこと

介護職員 植田 泰央 愛と勇気だけが友達さ	生活相談員 川原 謙二 志定まれば気盛んなり	介護支援専門員 小西 貴美子 一隅を照らす
介護職員 小林 由美 心を整える	介護職員 高 英淑 いつも ニコニコ笑顔で	介護職員 高根 通真 質実剛健
介護職員 藤井 文子 明るく楽しくありがたく	介護職員 丸山 貴史 仕事に邁進する	介護職員 森岡 恵美 有言実行

## 施設のご案内

## フロイデ金比羅

サービス付き高齢者向け住宅

複合施設ならではの同一建物内の住み替えに沿った住居ともいえる施設で、あなたの暮らしを支えます。



**施設の特徴** 特別養護老人ホーム、グループホーム、小規模多機能を併設。住み替えに沿った住居。

問合せ先:083-227-2812 担当:河合、植田

## フロイデ彦島

ケアハウス

充実の設備・お食事に、プロの見守りをプラスします。安心の住まいでの、自分らしい自由な暮らしをサポートします。



※夫婦部屋もあります

**施設の特徴** グループホーム、デイサービス、ホームヘルパーステーション、居宅介護支援事業所を併設。

問合せ先:083-261-5539 担当:中川、秋本

## コスモス

住宅型有料老人ホーム

全室バリアフリーで、入居者様のライフスタイルと個々の自立を、快適な空間でサポートします。



**施設の特徴** 介護老人保健施設、通所リハビリテーション(短時間リハあり)、喫茶を併設。

問合せ先:083-258-3030 担当:長崎、藤田

## ケアタウン山の田

サービス付き高齢者向け住宅

個々の自立を尊重しながら、医療・介護の連携により、あなたの安心・安全を提供致します。



**施設の特徴** 診療所、リハビリ施設、小規模多機能、グループホーム、調剤薬局、コンビニを併設。

問合せ先:083-250-7184 担当:嶺崎、勝尾

## スタッフ募集

「医療法人社団 松涛会」「社会福祉法人 松涛会」では、新しい看護・介護職を募集しています。

★患者様や利用者様、ご家族に喜んでもらえる仕事がしたい!

★さまざまな現場で、医療・介護のスキルを磨きたい!

★笑顔で仕事がしたい!

そんなあなたをお待ちしています。

■採用情報は

職業安定所もしくは、下のホームページよりご応募ください。

[医療法人の求人ホームページアドレス]

<http://www.syoutoukai.or.jp/recruits/>

[社会福祉法人の求人ホームページアドレス]

<http://www.syoutoukai.or.jp/staff/>

■内容詳細等に関しましては

医療法人社団 松涛会 安岡病院  
☎083-258-3711 担当／人事課  
社会福祉法人 松涛会 はまゆう苑  
☎083-258-3800 担当／法人事務局

やすらが丘スタッフも随時募集中です!